

	関係者	項目	2024年度末の状況	2025年度目標	2025年度目標：具体的内容	2025年度末評価
(イ)外来診療時間の短縮、地域の他の保険医療機関との連携などの外来縮小の取組み	医事診療サービス部 (外来医事課)	初診時の問診票の入力削減	・15歳未満の小児問診票の電子化実施 ・15歳以上の成人紙問診票の一元化	15歳以上の問診票の電子化実現	・2025年10月までに紙問診票を電子化へ移行作業 ・2025年10月1日より 整形外科予約分より電子化予定	
	医事診療サービス部 (外来医事課)	健診情報、薬剤情報の診療支援の活用	問診票の一元化、電子化に向けた準備	健診情報、薬剤情報を活用した外来診療の実現	継続	
(ロ)院内保育所の設置	人事部	夜間帯の保育の実施	24時間の保育を実施	24時間保育の継続実施	継続	
	人事部	病児保育の実施	病児保育の継続実施	病児保育の継続実施	継続	
(ハ)医師事務作業補助者の配置による医師の事務作業の軽減	医事診療サービス部 (医師診療支援課)	医師事務作業補助者による文書作成補助	作成期限遵守率 99.1% 作成支援率 71.8%(25,128件)	文書作成支援維持と作成期限遵守	文書作成支援維持と作成期限（96％）遵守	
(ニ)医師の時間外・休日・深夜の対応についての負担軽減及び処遇改善	人事部	医師の時間外負担軽減	A水準超えとなった医師数16名	A水準での時間外管理を実施	4半期ごとにデータをまとめ、状況の確認ならびに対応策を検討する	
(ホ)特定行為研修修了者の複数名の配置及び活用による医師の負担軽減	看護部	特定行為研修修了者	修了者18名 (院内・院外修了者)	修了者の増員とその活用	特定行為研修修了者の増員と活用の検討	
(ヘ)院内助産又は助産師外来の開設による医師の負担軽減	看護部	助産師外来 院内助産	助産師外来継続 1～2名/月 院内助産を実施	助産師外来の継続実施 院内助産の継続実施	継続	
(ト)看護補助者の配置による看護職員の負担軽減	看護部	清拭、洗髪等 患者の見守り	エリアの一員として看護アシスタントが業務を行う取り組みは7部署で実施。看護師からは効率性アップと質の向上につながっていると評価あり。 技能実習生は業務に必要な技術は習得できており、日本語能力の向上に合わせて業務拡大する予定。	看護師との協働の拡大	看護師とエリアで協力し療養生活の援助件数を増やす 身体拘束を低減できるように見守りの拡大 技能実習生1期生の育成(業務拡大) 技能実習生2期生の採用に向けた準備	